

株式会社 利水社

◎ 事業所概要

企業名 : 株式会社 利水社
代表者氏名 : 代表取締役 市山 勉
所在地 : 金沢市東蚊爪町 1-19-4
業種 : 測量業
労働者数 : 52人



◎ 行動計画

- | | |
|--------|---|
| 1 計画期間 | 令和元年12月1日 ~ 令和4年3月31日 |
| 2 内容 | |
| 目標1 | 子どもが生まれる際の父親の休暇取得を促進する |
| 目標2 | 育児・介護休業法に基づく育児休業等、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業など諸制度を周知する |
| 目標3 | 所定外労働の削減のため、ノー残業デーの設定等を実施する |
| 目標4 | 有給休暇取得義務化を周知し取得を促進する |
| 目標5 | 多様な働き方の推進としてテレワーク勤務制度を導入し、定着させる |
| 目標6 | 地域貢献活動による働きがいのある会社づくり |

◎ 認定取得に向けた取組状況

目標 1

社内電子掲示板に「男性の育休応援宣言」と題した育児休業取得を促進する内容の掲示物を掲載した。

目標 2

社内電子掲示板に「育児介護休業規定改定のお知らせ」を掲示し、制度を周知した。

目標 3 及び目標 4

社内電子掲示板に「2019 年度年間休日カレンダーについて」と「ノー残業デー及び有給休暇取得推奨日の実施について」を掲示し、ノー残業デーの実施や年次有給休暇の取得義務化等を周知した。

目標 5

テレワーク勤務ガイドラインの運用を開始した。

目標 6

海岸清掃やトイレ清掃活動を実施した。

企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

- ・社内電子掲示板に「男性の育休応援宣言」というタイトルで、「会社は仕事と子育てを両立する男性社員を応援する」というコメントならびに、育児休業は男性も取得できることや、雇用保険から育児休業中の経済的支援が受けられることなどの「育児休業制度」も掲示したことによって、男性社員に育児休業について周知することができたと思いますし、会社は男性社員の育児休業取得について否定的ではないということも伝わったと思います。その結果、宣言から約1年半後に、弊社で初の男性育休取得者の誕生につながったと思います。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

- ・男性の育休取得実績ができたことで次からの人が取得しやすくなったのではないかと思います。ただし、労働力の減少をカバーするための対応等が今後の課題と考えています。

○ 育児関連休業を取得した男性社員の声

■ 育児休業を取得したいと思ったきっかけ

子供が一卵性双生児(双子)で生まれ、夫婦で子供の成長を共に過ごしたいと思いました。

■ 配偶者の反応

双子を妊娠した時は、一人で育児をこなせるかとても不安だったので、夫も育児休業を取ってくれてすごく心強かったです。

■ 上司・同僚の反応

育児休業の取得について相談したときは、いつ復帰するかなど話し合いをして承認いただきました。同僚にも自分が育児休業を所得することで迷惑をかけてしまうのではないかと考えていましたが、双子育児の大変さを理解してもらえたので取得しやすかったと思います。

■ 取得にあたって準備したこと(仕事面)

自分が担当している業務等を完了させていたので引継ぎ等はありませんでした。

■ 取得にあたって準備したこと(家庭・子育て面)

妻の出産前の入院期間中に育児に必要な物を買って揃え準備しました。

■ 育児休業中どう過ごしたか

双子の育児であり1日1日の成長を見守りながら過ごしました。

■ 復帰後の働き方と育児について

復帰後は業務に積極的に取り組みながら、残業を減らすための作業効率を考え、仕事と育児の両立ができています。

■ 育児休業を取得した感想

育児休業を取得して、子供が成長する時間を共に過ごせた事は良い経験であり、家庭面や仕事面での時間の大切さを改めて理解することができました。

■ これから育児休業を取得する男性職員へのメッセージ

育児休業を取得する上で、会社の上司や同僚に仕事の引継ぎ等を事前に話し合い、理解してもらう事が必要だと思います。育児休業を取得し、子供と一緒に過ごす時間は大切な時間なので、育児休業を取得して良かったと感じています。

(空間情報部応用測地グループ・29歳)

